

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成20年2月6日

## 【評価実施概要】

事業所番号	3770300576
法人名	医療法人社団西山脳神経外科病院
事業所名	グループホームメイプル
所在地	香川県坂出市加茂町591番地 (電話) 0877-48-3833

評価機関名	社会福祉法人香川県社会福祉協議会		
所在地	香川県高松市番町一丁目10番35号		
訪問調査日	平成19年12月15日	評価決定日	平成20年2月6日

## 【情報提供票より】(19年11月16日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	昭和・ <u>平成</u> 16年4月1日		
ユニット数	2ユニット	利用定員数計	17人
職員数	25人	常勤	23人、非常勤 2人、常勤換算 4.2人

### (2) 建物概要

建物構造	鉄骨造り 5階建ての5階部分
------	-------------------

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	40,000円	その他の経費(月額)	10,000円+実費	
敷金	有( )円	(無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有( )円	有りの場合 償却の有無	有/無	
食材料費	朝食	300円	昼食	500円
	夕食	500円	おやつ	100円
	または1日当たり 円			

### (4) 利用者の概要(11月16日現在)

利用者人数	17名	男性	2名	女性	15名
要介護1	4名	要介護2	0名		
要介護3	8名	要介護4	4名		
要介護5	1名	要支援2	0名		
年齢	平均 87.5歳	最低	80歳	最高	96歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	西山脳神経外科病院、大塚歯科医院
---------	------------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

当グループホームは、幹線道路に面した法人の関係施設の5階に位置している。協力医療機関と併設しており、受診等について迅速に対応できる環境を整えている。また、ホームの北側には家庭菜園を設け、利用者の外出の機会づくりや生き甲斐を感じられる工夫をしている。  
管理者・職員は、ホームの「こころ安らぐあったかコミュニティ」の理念を基に、利用者のその人らしい生活支援に向けて、一丸となって取り組んでいる。その結果、利用者の表情が自然で、安心して過ごされている。

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	<b>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</b> 前回の評価では、防火訓練の実施面で改善課題があったが、管理者及び職員が課題を共有し、独自のマニュアルの整備を図っている。また、改善課題に対して具体的に改善する等、意欲的に取り組む姿勢がうかがえる。
	<b>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</b> 管理者及び職員が、自己評価・外部評価についてカンファレンスにて話し合いをしている。今後、全職員で改善が必要な項目について共に話し合い、サービスの質の向上につながる取り組みを期待したい。
重点項目②	<b>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</b> 運営推進会議は2か月ごとに開催しており、ホームの説明や状況の報告、意見交換が行われている。今後も、会議で討議された内容をサービスの質の向上に活かして欲しい。
	<b>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</b> 面会時には利用者の暮らしぶりや健康状態を伝え、ご家族からの意見・要望を聞いている。また、「苦情箱」等の設置体制を確保すると共に、日頃からご家族が意見や要望を言いやすい雰囲気作りに努めている。金銭管理については、毎月、定期的に家族に報告を行っている。
重点項目④	<b>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</b> 地域の文化祭の見学や、祭り等の行事に参加している。利用者一人ひとりが地域とつながりながら暮らしていけるよう、更に地域の様々な行事への参加を行い、交流して欲しい。また、地元の自治会や婦人会・ボランティアグループとの交流を図っていく取り組みを期待したい。

## 2. 評価結果(詳細)

(  部分は重点項目です )

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「こころ安らぐあったかコミュニティ」の独自の理念をつくりあげている。また、地域密着型サービスの意義を理解すると共に、家庭的な雰囲気大切に、運営理念の実現を図っている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念はホールの目のつくところに掲示し、管理者及び職員で共有しており、日常のケアで活かしていることがうかがえる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の文化祭の見学や祭り等の行事に参加している。また、運営推進会議に地域の方の出席をいただいている。	○	利用者一人ひとりが地域とつながりながら暮らしていけるように、地域の様々な行事に参加し、交流して欲しい。また、地元の自治会や婦人会・ボランティアグループとの交流を図っていく取り組みを期待したい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	定期的なカンファレンスを開催し、話し合いをしている。	○	全職員が評価の意義が理解できる勉強会を開催し、自己評価について全職員が共に話し合い、サービスの質の向上につながる取り組みを期待したい。
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議では、ホームの説明や状況が報告されている。	○	運営推進会議での意見が、ホームのサービス向上への活動や地域の支援を得るための機会となるよう、今後の取り組みに期待したい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>市担当者は、運営推進会議への参加をしている。また、ホームにおける運営上の相談や情報提供・情報収集をしている。</p>	○	<p>市担当者に対して、ホームの状況や取り組みを積極的に伝える活動を行い、運営の実態の共有や課題解決に向けての協議が行える関係づくりを期待したい。</p>
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>家族の面会時には、利用者の暮らしぶりや健康状態を伝えたり、来訪の少ない家族には、定期的に電話連絡を行っている。また、金銭管理についても、定期的に報告している。</p>		
8	15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>家族からの意見・要望を聞く「苦情箱」の設置やアンケート調査実施の取り組みを行うと共に、日頃から、家族が意見や要望が言いやすい雰囲気作りに努めている。</p>		
9	18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>馴染みの関係を壊さないよう、職員の異動は極力減らしている。変わる場合は、利用者一人ひとりに合わせた伝え方をしている。</p>		
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>新任職員マニュアルの整備や、県の認知症介護実践研修への参加を行うと共に、研修参加後に勉強会を開催している。</p>	○	<p>職員の立場、経験や習熟度の段階に応じた研修計画を立案すると共に、職員が働きながら技術や知識を身につけていくための取り組みを期待したい。</p>
11	20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>時々、他事業所への見学や研修会に参加し、交流をしている。</p>	○	<p>地域の関係事業所の連絡協議会等に参加し、ネットワークづくりや勉強会を通じて、サービス向上につながる活動を期待したい。</p>

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	家族と本人に、見学に来てもらうように働きかけている。	○	利用者の状態に応じ、入居前には十分に見学をしていただく機会を設けたり、職員やホームに馴染めるよう、家族等と共に取り組むことを期待したい。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員からの一方的なケアではなく、うどん作りや家庭菜園等は利用者の方に教えてもらう等、共に助け合う生活をしている。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の会話や表情、しぐさ等から、本人の思いや意向を把握するよう努めている。また、「認知症の人のためのケアマネジメントセンター方式」を活用し、職員で把握している。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	利用者の意向を聞き、家族や職員との話し合いを行い、利用者の考えや思いが反映された個別の介護計画を作成している。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	定期的な見直しや、利用者状態の変化に伴った見直しをしている。また、家族や職員、関係者との十分な話し合いによる取り組みをしている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	医療機関への受診やリハビリテーション通院の支援をしている。	○	外出支援等のサービスの多機能のみでなく、利用者・家族の要望や状況に応じた、暮らしを守るための取り組みを期待したい。
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	同敷地内の協力医療機関に受診支援をしている。定期的に協力歯科医の往診を実施している。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	入居時に家族の方に対して方針を説明すると共に、希望を聞いている。また、機会をみて、利用者・ご家族の意向に沿えるための話し合いを行っている。		
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1)一人ひとりの尊重</b>					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	職員が利用者の誇りを傷つけたり、プライバシーを損なうような言葉かけや対応は見られなかった。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者の心身状態の把握を行い、食事などの対応は、利用者一人ひとりの生活ペースを大切に支援をしている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b>					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	職員と一緒に食事を取るなど、楽しんで食事をしている。また、利用者個々の力量に応じた食事の準備や、後片づけの手伝いをさせていただき取り組みをしている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	基本的な入浴の回数や曜日の定めはあるが、利用者一人ひとりの心身の状態に応じた支援をしている。		
<b>(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者の好みや生活歴を活かし、食事の準備・後片づけ、テーブル拭きなどの役割や楽しみの場の提供をしている。	○	全ての利用者に対して、一人ひとりの生活習慣や希望、潜在している記憶やできる力を最大限活かした支援の取り組みに期待したい。
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	天候や季節に応じて、家庭菜園やドライブに行くなど、利用者の希望に沿った支援をしている。	○	重度の利用者の方も、本人が戸外で気持ちよく、生き生きと過ごせるような取り組みを期待したい。
<b>(4) 安心と安全を支える支援</b>					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	各ユニットの入り口にはブザーマットを設置しており、基本的に鍵はしない支援をしている。不穏症状がある利用者には見守りに努めている。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	災害対策マニュアルの整備をしている。	○	消防署や地域の方を交えての避難訓練や、夜間の火災を想定した防火訓練の実施を期待したい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者個々の食事摂取量を把握し、毎食記録している。また、水分摂取については利用者に合った支援をしている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有空間にはテレビやソファ等を設置し、利用者が落ち着けるための配慮をしている。また、季節感を取り入れた花や装飾もあり、居心地よく生活できる工夫がされている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かし、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ベッドとクローゼットはホームで準備している。利用者が使い慣れたテーブル、椅子、写真、装飾品などを持ち込み、その人らしい生活ができるように配慮している。		